

1	事業名称	信州高遠ボランティア養成研修			
2	新規・継続	継続	13年目		
3	趣 旨	国立信州高遠青少年自然の家の自然環境を活かした様々な体験活動や学習を通して、青少年教育施設における子どもたちの体験活動を支えるボランティアとしての必要な知識・技術について研修する。			
4	期日・期間	回数	開始日	～	終了日
		1回	5月23日(土)	～	5月24日(日)
5	実施場所	国立信州高遠青少年自然の家			
6	募集人数	30人			
7	共催・協力・後援	後援：長野県教育委員会 山梨県教育委員会 愛知県教育委員会 協力：国立大学法人信州大学、国立大学法人上越教育大学			
8	参加者人数	33人			
9	参加者類型	大学生33人			
10	参加者地域	長野県31人，新潟県2人			
11	参加者分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者は全員大学生で、8割以上が教育参加であった。その他の学生は、以前に教育参加で事業経験があり、改めてボランティアとして活動を希望する者がほとんどであった。</li> <li>前年同様、近隣地区高等学校へも広報活動を行ったが、試験期間との重なり等の理由で、高校生からの参加申込は無かった。高等学校への広報方法について、検討の余地がある。</li> </ul>			
12	アンケート満足度	満足	やや満足	やや不満	不満
		82%	18%	0%	0%
13	アンケートの主な記述	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアや青少年の現状について新たに知ることが多く、より学びたいことが増えた。</li> <li>今までしてみたかったけど遠い存在に感じていたボランティアを、今回の研修で身近に感じ、もっと子どもたちと触れ合いたいと思った。</li> <li>ボランティアに興味はあったが、自分にやり遂げられるか不安だった。しかし今回の研修を通して、まずはやってみなければ分からないと考えるようになった。</li> <li>先輩ボランティアの姿はとてもかっこよく、あこがれるものがあった。</li> </ul>			
14	成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>「青少年教育の理解」や「青少年教育施設の現状と運営」の講義で、参加者は青少年にとっての体験活動の重要性や、青少年教育施設の必要性を学び、ボランティアとして自分たちもそこに関わって協力していきたいと強く感じている様子だった。</li> <li>「青少年教育施設におけるボランティア活動」では、参加者は先輩ボランティアの話を聞いて具体的なイメージを膨らませ、より一層ボランティア参加への気持ちを強めていた。</li> <li>「救急法講習会」を含む様々な演習では、「今後、実際に子ども達と活動することをイメージして」と投げかけたことで、参加者は各々で実際の場面を想定をしながら、真剣に取り組んでいた。</li> </ul>			
15	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>日程が過密で、参加者同士の自由な交流の時間はおるか、講義間の休憩や気分転換の時間もほとんどとることができず、参加者の大きな疲労や集中力の欠如を招いていた。現在の日程内でそれらの時間を捻出することはかなり難しく、事業の開始時間や終了時間を大きくずらすなど、思い切った改善策を検討する必要がある。</li> </ul>			
16	担当者メモ	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回のねらいとして、参加者が、当施設でボランティアとして実際に携わる活動（アイスブレイク、野外炊飯）の基本的な知識・技術について体験して学び、今後のボランティア活動へ自信をもって積極的に参加できるような内容とした。</li> <li>外部講師の活用は、参加者にとって良い刺激となることはもちろん、職員にとっても貴重な学びの場となるので、今後も積極的に検討していく方がよい。</li> </ul> <p style="text-align: right;">担当 林 健介</p>			

プログラム展開		
日程・時間	プログラム	担当（講師等）
<b>5月23日（土）</b>		
10:45～11:15	開講式	
11:15～12:45	講義 「青少年教育の理解」	国立信州高遠青少年自然の家 所長 下村善量
13:30～15:00	演習 「ボランティア活動の技術」（アイスブレイクの手法）	国立信州高遠青少年自然の家 職員 法人ボランティア
15:00～18:30	演習 「ボランティア活動の技術」（野外炊飯）	自然体験活動指導者（NEALリーダー） 齋藤壽彦 氏 国立信州高遠青少年自然の家 職員
18:30～20:00	講義 「ボランティア活動の意義」	自然体験活動指導者（NEALリーダー） 齋藤壽彦 氏 国立信州高遠青少年自然の家 ボランティア・コーディネーター
20:00～21:00	説明 「青少年教育施設におけるボランティア活動」	法人ボランティア
<b>5月24日（日）</b>		
8:00～8:30	説明 「青少年教育施設におけるボランティア活動」	国立信州高遠青少年自然の家 ボランティア・コーディネーター
9:00～12:00	演習 「安全管理」（救急法講習会）	日本赤十字社救急法指導員
13:00～14:00	講義 「青少年教育施設の現状と運営」	国立信州高遠青少年自然の家 次長 渡邊 孝
14:00～14:30	説明 「青少年教育施設におけるボランティア活動」	国立信州高遠青少年自然の家 ボランティア・コーディネーター
14:45～15:15	閉講式	



講義「青少年教育の理解」



演習「野外炊飯」



説明「青少年教育施設におけるボランティア活動」



演習「アイスブレイクの手法」



演習「救急法講習会」



全体写真